

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Tremelimumab + Durvalumab + PEM維持療法 (A期)

8週毎 1コース予定

非小細胞肺癌

主治医

指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()

スケジュール

		day1	day29
イジユド(トレメリマブ)	75 mg/body		↓
イミフィンジ(デュルバルマブ)	1500 mg/body	↓	↓
ペメトレキセド	500 mg/m ²	↓	↓

- 【注意】 *他剤併用時はデュルバルマブ、トレメリマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること
 *デュルバルマブ、トレメリマブはインラインフィルター(0.2または0.22 μ m)を使用して投与すること
 *体重30kg以下の場合のデュルバルマブ1回投与量は20 mg/kgとして計算すること
 *ペメトレキセド投与の7日以上前よりパンビタン末を1g分1で内服開始。^{注1}
 *ペメトレキセド投与の7日以上前より

メチコパール中500 μ g 2A(1mg)を筋注(以後9週間毎)。^{注2}

注1:投与中止または終了する場合には、最終投与日から22日まで可能な限り投与する。

注1:投与期間中及び投与中止後22日目まで9週ごとに1回投与する。

*1コース終了後、維持療法B期へ移行する。

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day1

- ① 生食500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② イミフィンジ 1500 mg + 生食 70 mL 点滴静注60分(100 mL/時間)
◎メインの生食でフラッシュ
☆初回投与であれば60分間観察、2回目以降は30分に短縮可能
- ③ デキサメタゾン注6.6 mg(2mL)+生食20 mL 側管静注
◎メインの生食でフラッシュ
- ④ ペメトレキセド + 生食 100 mL 点滴静注10分(600 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

day29

- ① 生食500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② イジユド 75 mg + 生食 100 mL 点滴静注60分(100 mL/時間)

◎メインの生食でフラッシュ

☆初回投与であれば60分間観察、2回目以降は省略可能

- ③ イミフィンジ 1500 mg + 生食 70 mL 点滴静注60分(100 mL/時間)

◎メインの生食でフラッシュ

☆初回投与であれば60分間観察、2回目以降は30分に短縮可能

- ④ デキサメタゾン注6.6 mg(2 mL)+生食20 mL 側管静注

◎メインの生食でフラッシュ

- ⑤ ペメトレキセド + 生食 100 mL 点滴静注10分(600 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

	1コース	
	day1	day29
月日	/	/
イジユド 開始時刻		↓
イミフィンジ 開始時刻	↓	↓
ペメトレキセド 開始時刻	↓	↓
確認		